

★政務調査費の使途について、越谷市等で問題になりました。私達の会派でも平成18年度分(年間20万×2名分)40万円の申請(領収書を添付)をしました。詳しい内容は情報公開で資料請求できます。

三月議会の一般質問の報告

行財政改革について

Q 市の審議会・委員会の報酬(専門家を除く)を見直しする自治体があります。本市でも厳しい財政状況を考え、見直しする考えは？
A 費用弁償に関しては、平成16年度から2200円から10000円に引き下げを行ってある。報酬に関しては平成17年度から環境衛生委員会の委員報酬を7000円(月額)から5000円に引き下げを実施。今後は国県、近隣市の状況と比較し、必要に応じて見直す。

和宏の意見

私も議員になる前に市内施設の運営委員を務めていました。年1回の会議、当初は30分程度も終了、最後に印鑑を押すと6000円が振り込まれていました。これって何？と思いついて、当時議員で出席していた委員に聞くと、「良いんだよ、黙って貰ってれば」と。2年目からは意見を会議中に発言すれば「何者？」という空気。あれから6年。職員に都合の良い人材を集めて審議会を開催し、原案どおり承認。という審議会も多いと聞いています。もともと、市の重要な政策を議論する場所という事を、メンバー・担当職員共々、再確認する必要があるのでは、そして事前に資料現在を当日配布が大半を配布するように提案しました。

Q 自治体会計のあり方が問われている時代に今後本市での連結バランスシートの導入についての考えは？
A 都道府県・政令市では全団体が作成済み。市区町村では41%が作成済みで、今後は国や近隣市の動向を見ながら検討する。

和宏の意見

たしかに市区町村での導入は進んでいませんが、本市を含め厳しい財政運営を強いられつつある自治体が多い中、市の現状、将来負担等を正確に把握して対策を講じる必要があると考えます。現在作成されている総務省方式の単式バランスシート(本市でも作成済み)では充分とは言えない。今後、総務省は自治体の経営に対して悪化する自治体には指導、勧告などを実施する方向であり、本市でも、多少のコスト(費用)は発生しますが早急に現状、将来

負担に対しての分析をする必要があると、提案しました。

Q 税源移譲に伴って、市民税が増額し、市の独自財源が増加しますが、反面、市税等の徴収率の向上が求められています。本市の対策は？
A 平成18年度はより一層の徴収率向上のため特別対策(税三課で夜間電話催告を実施)また県職員1名が納税課され高額納税者の滞納処分を集中的に実施。また市職員を1名越谷県税事務所へ派遣し、スキルアップを図っている。

和宏の意見

本市の徴収率(収納率)は以前に比べると、アップしていますが、まだ近隣市と比べると低い数値となっています。どの自治体でも社会情勢等の影響で滞納が増加傾向ですが市の収入の根幹となる市税は重要であり、さらにも徴収体制の強化を要望しました。また地方自治法改正で可能となった「クレジット・カード」による決済について、課題はまだありますが、今後検討して欲しいと要望しました。

給食費未納問題について

Q 新聞報道で全国的に給食費未納問題が取り上げられています。本市では未納額の割合が県内ワースト1位となっており、今度の対策について教育委員会の考えは？また要因の分析等は行っているのか？
A 今後の対策は市内15校の小・中学校長で組織する協議会で検討をする。要因の分析について経済的な援助が必要な家庭には、就学援助の申請を勧め、認定された家庭では給食費の未納はありません。従って滞納の多くは払えるのに払わない家庭であると認識している。

和宏の意見

この問題については総務委員会、議会での総括質疑、そして一般質問で多くの議員から質問がありました。特に県内ワースト1位というところは市民としても、大変恥ずかしい問題だと思います。社会全体の規範意識の低下が危惧されていますが、親(保護者)なら最低でも、子供達の給食費を払うのは当然の義務だと思っています。私の知り合いの方も、昔は、自分の食費を削ってでも、子供達にはみつも

ない経験をさせたくないと思っ自分我慢した」と話しておりました。

徴収に行つた先では、家のローンが、携帯電話の料金が大変で：という保護者が居留守を使つて応答しないなどの保護者がいると聞いていますが、何を考えているのか。と思つています。

教育長答弁では、現在の徴収方法(教育委員会の口座へ銀行振り込み)から他の方法を考えていると回答がありました。あつたため保護者の意識を変えないと解決しない問題だと思つました。

奈良・葉師寺(故)高田好胤住職の言葉が印象に残っています。

この国はモノで榮えて、ニホで減ぶ…(みんんで考え直さないと)

「コンマ1秒」の改革について

Q 選挙時の開票作業を工夫し、短時間で開票作業を終了、費用の削減や作業の効率化を図る取組みが始まっています。本市でも職員の意識改革の手法の一つとして実施する考えは？
A 開票事務の効率化「ゼロ・コンマ1秒」の改革は北川前三重県知事が提唱している運動です。選挙管理委員会では予定されている選挙の開票事務について、開票作業の改善を積極的に推進していく必要があると認識しています。今後も先進自治体を取り組んでいる開票事務の迅速化に向けた事例を参考として選挙開票事務さらなる効率化を図ってまいります。

和宏の意見
 研究所の試算では夜11時までかかった開票時間を1時間短縮すると全国で約11億円の人員費が削減できると試算しています。本市の場合、開票事務の報償金は時間給ではなく4時間相当分(13000円)が職員に支払われています。(税金から)この取組みは費用面での効果もありますが、職員の意識改革の手法として注目されています。行政の業務内容は明確な目的意識が少ない業務が多いと思つています。だからこそ目的・目標ある作業を実施することによって、普段気づかなかつた事が発見し、通常の業務に活かせるのではと考えます。今までの開票スピード記録は昨年行われた福島県知事選挙で相馬市が開票時間25分!04年に実施された東京都府中市長選挙で35分!です。

傍聴 うおちゃん!!



○是非一度、傍聴してみたいと思つていますが、予定が合わず…。しかし都合がついて今回初めて朝田議員の一般質問を傍聴しました。朝田議員の質問は正しく、「市民の声・市民の疑問」を議場に届けてくれていて！と感動しました。もつと市政を良くしたい！市民の声を伝えたい！という彼(朝田議員)の最初の立候補時の意気込みに感動して応援をしましたが、5年が経過しても気持ち、意気込みが変わっていない事が確認出来ました。過去に議員になると急に威張つたりして「勘違い」する人もいましたが、議員は「市民の代表」である事を忘れてはならないと思つています。朝田議員が所属する会派は小多数会派ですが、今の時代、私は会派の大小で判断するのではなく、「議員個人の資質はどうなのか」が重要だと思つています。また有権者も自分が投票した議員の「何をやってるのか?」どんな活動しているのか?」をチェックし、次回の選挙での判断材料にする必要があると思つています。是非これからも朝田後援会の看板「市政に新しい風を!」のスローガンのように、議会に爽やかな「風」を送り続けて、将来は「大きな風」となつて、より素晴らしい八潮になるために、これからも頑張ってほしいと思つています。

50代女性(主婦)



今回、月曜日朝10時からという、お忙しい時間にもかかわらず、傍聴席がほとんど満席になるほどの大勢の傍聴者が傍聴されました。有難うございます。次回は6月です。 感謝! 和宏